

住吉の川下り来る初時雨 忠文

神戸市会議員

ただ ふみ

うらがみ忠文新聞

2017
2018
秋冬の号

行動すれば、何かが生まれる。

神戸市長、市会議員補欠選挙が行なわれま
した。皆さんは投票に行かれましたか。
私は、あの阪神淡路大震災直後の市会議員
選挙に「もつとも弱い立場の人が幸せでなく
ては神戸は幸せになれません」と叫んで立候
補しました。
自分の力でどうにもならなくなった時や人
のために政治があるのだ！ 熱くひらめくも
のがあったのでした。
空港よりも復興住宅を、という決意のもと
「神戸空港は住民投票で運動」の先頭に立ち
ました。結果は、有権者の三分の一以上の署
名を集めました。神戸市会の強行採決で住
民投票条例案は否決されてしまいました。
しかし、何事もやってみるものです。
それ以降の神戸市政において「みんなが相
談して、みんなが決めよう。市民が中心とい
う空気が生まれました。」
「市民局」を「市民参画推進局」と呼ぶよ
うになったのも、その一例です。

うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2015年 神戸市会議員6選
- ・無所属「創造都市、福祉充実を目指す」

毎日、発信して
います。ブログは、
4,000日を越え
ました。感謝！



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に！

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会無所属 浦上忠文発行 TEL 078-322-5863

【議会報告】

秋の本会議。私の代表質問の要旨。

■だんじりの練習の音や、幼稚園の子どもたちの声がうるさいなどの声を聞くと、社会から「お互い様」の精神が薄れていると感じる。

今こそ、行政が「お互い様精神」を発信して、みんなで助け合う、いたわり合うあたたかい空気を作り出すことが大切ではないか。

そのために、市民と密接につながっている「市民参画推進局」という局の名称を「市民参画お互い様局」と変えてみてはどうか。

★久元市長の答弁

趣旨は理解するが、議員の提案する局名が市民の合意を得られるかは疑問に感じる。

様々な人の努力で、社会が良くなった面があることも踏まえて、考え方が異なる人がいる地域社会の中で、コンセンサスを作り、相互理解を深めていく努力がすべての人に求められている。

■市民の中には不安を抱えながら、自ら声を上げられず、行政サービスが届かない人がたくさんおられると感じている。そんな方々に、安心感を与えるためにも、市長が「おせっかいに市民の相談にのる市役所にする」というメッセージを出してはどうか。

★玉田副市長の答弁

声を上げられない人へ行政サービスを届けるには、行政だけの力では難しい面もあり、地域力を高めることも大切である。

今年、横断的に地域を支える地域コミュニティ支援者会議を各区に立ち上げており、自治会が無いなど地域力が弱い地域には重点的に支援策を考えていきたい。

★久元市長の答弁

助けを待っておられる方については、窓口に来てもらうことを待っているだけではなく、「おせっかい」に出向いて行って、いろいろ相談を受けるといった対策も講じなくてはならないと思っている。

お互い様といえば、神戸。
おせっかいといえば、神戸市役所。
あたたかい社会をつくれます！
浦上忠文

